

平成26年度 第38回全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

11

男子・女子 2回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 スカイホール豊田 コート 岡崎中央総合公園総合体育館 A コート

岩国工業 <hr/> チーム名	37 <hr/> 総得点	14 — 9 23 — 10 <hr/> <hr/> <hr/> 7mTC	19 <hr/> 総得点	春日丘 <hr/> チーム名
--------------------	-----------------	---	-----------------	-------------------

2回戦、岩国工業はポジションチェンジからのカットイン、春日丘は8番服部のロングシュート等を中心に互いに攻め込み、開始6分で3対3と互角の戦いをみせる。しかし、岩国工業7番中田の鋭いカットインによる春日丘の退場をきっかけとして、素早い速攻から得点を重ね、15分で7対3と試合を優位に進める。春日丘もロングシュート等で応戦するが岩国工業の速い展開についていけず退場が重なり、点差を縮めることができない。岩国工業が優位なまま14対9で前半を折り返す。後半の立ち上がりも岩国工業の多彩なポジションチェンジからの4番山崎のサイドシュートが決まり幸先のいい流れを作る。春日丘は9番秋山のロングシュート等で流れを引き戻そうとするが、攻めが徐々に淡白になっていき、岩国工業の守りを切り崩すことができない。一方の岩国工業は、速い攻めで攻撃の手を緩めず試合の流れを完全につかむ。その後も春日丘は17番青山のポストシュート等で反撃を試みるが点差を縮めるには至らず、岩国工業が37対19で勝利した。

2015年 3月 26日 AM (PM)

記載者氏名 服部 侑登